




SH-70パンチャーの取扱い

工具仕様		標準付属品	
最大出力	304kN(ポンプ出力68.5MPa)	パンチセット	10.5, 13.5, 17.5, 20.5
最大打抜穴径 および最大板厚	φ20.5mm 10mm以下	ハンドピン	
ピストンストローク	17mm	六角棒スパナ	 呼び 2.5, 4
シリンダ油量	81.5cm ³		
本体質量	14kg	キャップナック	
適合ポンプ	HP-700S, 13号S-1 R14E-A, R14E-F		

使用順序

1. パンチャー本体のメスカップラと、油圧ポンプの高圧ホース先端のオスカップラを接続します。
2. 適合したパンチセットを選定します。
3. ダイをサイズ刻印のある面を下にしてはめ込み、止ねじを付属の六角棒スパナで締付けて下さい。
4. パンチはハンドピンを使用して、キャップナックを取りはずしたあと、パンチの外側にキャップナックをかぶせハンドピンでかたく締めて下さい。
5. パンチャー本体を被加工材の穴をあける位置にセットし油圧ポンプを操作すると、パンチが下がると同時に両側の押えも下がり、被加工材を押えます。
6. 穴があいたら、ただちに油圧ポンプの加圧をやめ、バルブを開いてピストンを戻して下さい。

使用上の注意

1. 急激な圧力変化のくり返して、カップラのねじがゆるんだり、キャップナックがゆるむことがありますので、時々点検して、ゆるんでいたらかたく締めて下さい。
2. カップラの接続は確実に行ない、取りはずしの際はピストンを完全に戻してから行なって下さい。
3. 作動油には、ブレーキ油などの動植物油は使用しないで下さい。
4. 薄板(1mm以下) および、非鉄材(銅、真ちゅう、アルミ等)の穴あけでは、バリの発生する場合があります。

株式会社 泉精器製作所